個人トータル票

大会名： 平成13年第32回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会静岡県予選

2001年 11月 11日（日） 試合時間 (AM)・PM 11：00

会場名： 静岡市北部体育館 （コート ）

（男・(女)） 決勝

Aチーム 常葉学園 100 ［30—12 / 24—19 / 23—15 / 23—17］ 63 静岡商業 Bチーム

NO	選手氏名	得点	3P	2P	自投	反則	NO	選手氏名	得点	3P	2P	自投	反則
(4)	内山真伍	23	0	10	3	2	(4)	内田里香	15	1	6	0	2
(5)	山本佳奈子	16	0	7	2	2	(5)	窪田千尋	15	1	3	6	1
(6)	櫻田佳恵	17	2	5	1	4	(6)	鈴木歩実	20	1	4	9	4
(7)	山田未来	20	1	6	5	4	(7)	中西美帆	11	0	3	5	3
(8)	安本亜沙美	9	0	3	3	4	(8)	上村稲実	0	0	0	0	4
9	三浦歩惟	4	0	2	0	4	9	宮山佳奈枝	2	0	0	2	0
10	太田洋子						10	山管郁美	0	0	0	0	2
11	成瀬咲美里						11	芝智子					
12	青木弘子	11	0	5	1	0	12	小沼有希					
13	清水翔子						13	伽藍澤尚子					
14	横山由紀枝						14	塚池知加					
15	戸川尚子						15	熊谷京子					
16	山下沙弥子						16	中野裕希					
17	土屋佳織						17	村田望					
18	前畑亜土理						18	増田衣美					
合計		100	3	38	15	20	合計		63	3	16	22	16

主審 関博樹　　副審 小塩達夫

記入者 金沢、赤堀、繁田、栗本　　所属 静岡西高

試合登録選手はすべ　記入。ただし未出場選手には、—印、出場選手には(0)を記入

戦況　評

Aチーム				Bチーム
常葉学園	100	［30—12 / 24—19 / 23—15 / 23—17］	63	静岡商業

第1Q 立ち上がり両チームハーフコートマンツーマンでスタート。常葉は出だしより持ち前の激しいディフェンスから速攻、1on1から主導権を握る。一方静商は④内田 ⑧鈴木のガードコンビを中心に攻めるが単発である。リズムに乗った常葉はこぼれ球をことごとくリバウンドを拾い ④内山、⑥櫻田のプレイからのジャンプシュートや1on1がおもしろいように決まり ⑦山田の3Pが入ったところで1Q終了 30－12の18点差がつく。第2Qに入ると少しゲームが落ち着き 静商も徐々にプレッシャーにも慣れ流れを取り戻し ⑤窪田が5分、3Pを決めたところで静商 27－38の11点差に縮める。しかし常葉は少し冷静になりかけたところで ④内山がリバウンドから速攻1on1と大車輪の働きをみせ、前半戦は 54－31の常葉23点の大量リードで折り返す。第3Q 常葉はオールコートマンツーを仕掛けるも逆にファールがかさみ、フリースローを与える。しかし大勢には影響がなく エイトクロスからシュートチャンスを作り、リバウンドからのセカンドシュートをことごとく決め点差は開くいっぽう。常葉④上村の連続ゴールで 77－46と31点差をつける。第4Qに入っても静商④内田がおこえられ重苦しい雰囲気はぬぐいコルず リバウンドとラッシュを制し、気迫に満る常葉が結局100－63 の37点差で圧勝した。

記入者 川村彩　　所属 静岡城北高校